

『淡海』

趣旨

オンタイムラリーを通して、ライダーのツーリングスキルを磨くことで、モーターサイクル文化の発展に寄与する。

目的

4種類のステージを走行してもらうことで、ライダーの一貫して走行できるツーリングスキルを試したい。琵琶湖の最北端を經ち、琵琶湖を囲む山と街を駆け抜け、琵琶湖の最南端に着く充実したラリーを走りたい。

注意事項

1. 法規走行を遵守し安全運転を励行する。
2. イベントではないとき、開始時刻は任意である。イベントのとき、STAGE 1, STAGE 3の開始時刻は、主催者の合図である。STAGE 2, STAGE 4の開始時刻はSTAGE 1, STAGE 3の終了時刻+REST TIMEである。
3. 終了時刻はSTAGE FINISHコマの緑ピンを通過した時刻である。
4. コマ図上の距離はGoogle Mapを元に作成している。コマ図上の距離と参加者の距離計に差があるので、参加者は適切に補正して走行する。
5. 走行しながら時間を調節する。時間調節のための停車はできれば避けてほしい。

計算式

TOTAL SCORE = STAGE - ERROR

STAGE SCORE = 4 stages × 25 points

ERROR SCORE = 1 point/minute × Error minutes

紹介

STAGE 1: 0:40:00 (28.05 km)

練習ステージ。スタート直後の琵琶湖と、道中にそびえ立つ伊吹山が印象的なステージ。主催者のコマ図上の距離と参加者のラリーコンピュータ上の距離の調整に充ててほしい。十分な調整と十分な休息でステージ2に備えよう。

STAGE 2: 1:55:00 (84.65 km)

舗装路ステージ。霊仙山を囲むように走り、鈴鹿山脈を越える長丁場。滋賀とはなにかを感じて欲しい。

STAGE 3: 1:15:00 (47.40 km)

市街地ステージ。湖南三山の麓を縫うステージ。ロストが命取りになるだろう。道路状況に応じて速度を使い分けなければ、減点を免れないだろう。

STAGE 4: 1:25:00 (53.68 km)

未舗装林道ステージ。信楽山地の短い林道を越え、琵琶湖へ出るステージ。体力を消耗している中で、集中して走行できるかが大切だろう。帰帆島大橋から琵琶湖を見たときの感動を味わってほしい。琵琶湖で会おう。